

ボトルワインを持ち運ぶ道具

Tool of carrying bottled wine

阿部卓也¹⁾

指導教員 比留間真¹⁾

1)サレジオ工業高等専門学校 デザイン科 空間・工業意匠デザイン研究室

キーワード：デザイン、持ち運び、ボトルワイン

1. 研究目的

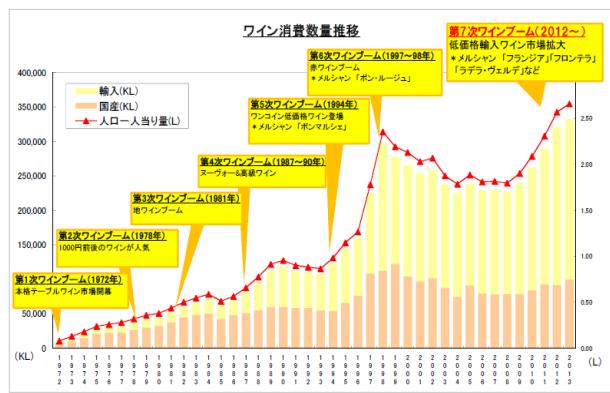
ボトルワインの低価格化によって手軽に購入できるようになり、国内のボトルワインの需要が増えた。

しかし、購入後ボトルワインを適切に持ち運びできるものはまだない。本研究では手軽にボトルワインを持ち運ぶ方法について研究を行う。

2. 調査内容

2.1 ボトルワインの需要

現状のボトルワインの需要は、2000年から2015年の販売と課税数量（図1）と1972年から2013年までのワイン消費数量推移（図2）をみると、2012年にワインブームがおきボトルワインが日常的に飲まれるようになった。大型ワインショップのワインバーの設置や、ブームとともに大型ショッピングモールのワイン売り場が充実した。



2000年から2015年度までの販売と課税数量

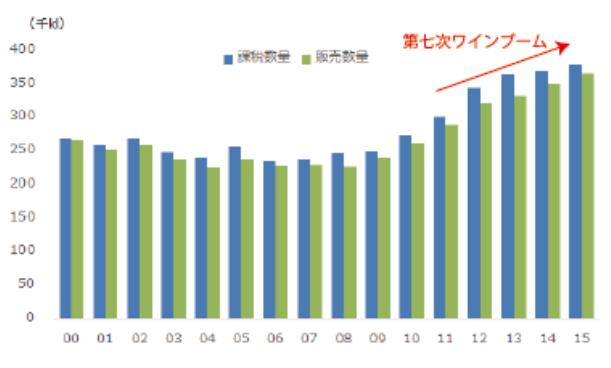


図2 2000年から2015年度までの販売と課税数量

2.2 購入状況と持ち帰る際の問題点

以下の3つの場面について問題点を抽出した。

〈ボトルワイン持つ場合〉

- ・複数本持つ際持ちづらい。
- ・片手で複数本持つ際ぶつかる。
- ・レジ袋が重みに耐えられず落下し破損する。

〈自動車の座席でボトルワインを運ぶ場合〉

- ・揺れで倒れる、転がる、ぶつかる。

〈電車で持ち運ぶ場合〉

- ・複数本で持ち運ぶ際ボトル同士がぶつかる。
- ・満員電車で持ち運ぶ際駅での乗り降りで人にぶつかり、ボトルが壁に激突する。
- ・網棚に袋で置く際揺れで転がる、落ちる。
- ・リュックサックや、トートバッグに入れて持ち帰る際にぶつかり、けがをする。

2.3 ボトルワインの梱包について

現在、ボトルワインの梱包材と提供方法は概ね

4種に分けることができる。

- ・店側が無料で提供する…クラフト紙による梱包、エアーキャップによる梱包、段ボール
- ・店側が有料で提供する…発砲スチロール梱包
- ・買い手が有料で購入する…紙袋による易ワインパック、布・革によるワインパック
- ・ワイン生産者が提供する…紙の箱での梱包、ワインクーラーバッグ（図3）



図3 ワインクーラーバッグ

これらをコストと使用回数のイメージマッピング（図4）で見ると、以下の項目にまとめられる。

- 1) 梱包材は無料で提供された後、使い捨てる。
- 2) 客がお金を支払う消耗品で、別の用途にも使用可能である。
- 3) 個人で客が買い何度も持ち運び使用可能である。

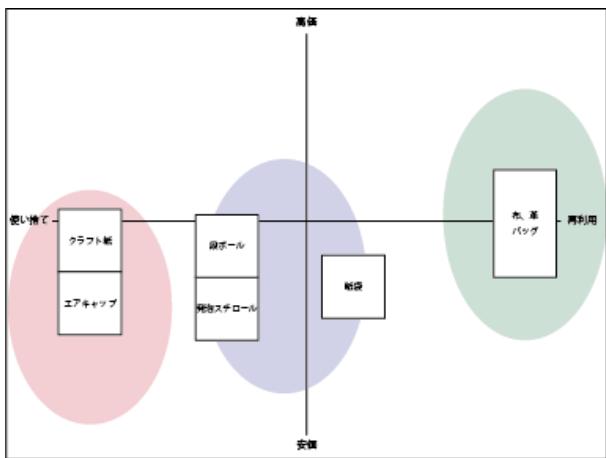


図4 4種類に分けた梱包のコストと使用回数

3. コンセプト

「マイ・簡単・ワインホルダー」

- ・自ら購入し、エコバックのように携帯でき、何度も使用できる。
- ・ボトルワインを衝撃から守り、店から家まで安全に持ち安く運ぶ

- ・購入する本数に応じて使用できる。

4. 今後の展開

コンセプトをもとに、図3でまとめたボトルワインを梱包するワインパック、クラフト紙、エアーキャップなどを参考に、以下の項目に配慮しながら実現可能なアイディアを試作し、改善点を探る。

- ・携帯するためのコンパクト収納できる工夫
- ・外からの衝撃を緩和し、底抜け市内素材
- ・複数本持てるよう�数によってワインを入れられるポケットを変更できる機能

また、ワインの持ち運びを行うシチュエーションごとに調査内容の問題点をもとに最適な形状、素材を検討し、試作を行う。

5. 参考文献

- (1) メルシャン：ワイン参考資料（2015）
http://www.kirin.co.jp/company/data/marketdata/pdf/market_wine_2015.pdf
- (2) JMR 生活総合研究所：ワイン（2017）
<http://www.jmrlsi.co.jp/trend/data/03-foods/03-11.htm>

1

- (3) 弁護士ドットコム：購入商品の破損(2015)
https://www.bengo4.com/c_8/b_313542/
- (4) 国税庁：酒のしおり（2017）
<http://www.nta.go.jp/shiraberu/senmonjoho/sake/shiori-gaikyo/shiori/2015/index.htm>
<http://www.nta.go.jp/shiraberu/senmonjoho/sake/shiori-gaikyo/shiori/2015/pdf/100.pdf>